



ひとりぼっち ゼロ PROJECT

ニュース No.74
2025. 9. 1

プロジェクト企画

～映画上映会～

みなさんのご来場お待ちしております。



チケットの購入はお済ですか
映画で“原発”のこと一緒に考えてみましょう

2025 年 9 月 20 日(土)

第 1 部 11:00～12:40 受付 10:30～

第 2 部 14:00～15:40 受付 13:30～

会 場 長田区文化センター3階 大会議室

参加協力金 1,500 円※中学生以下 1,000 円

※QR コードからお申込みできます。

参加協力金の振込確認後にチケットを郵送します。



詳細や申込方法、会場地図などは当 HP
に掲載のチラシをご覧ください

※プロジェクトでは年に 1～2 回、映画上映会を予定しています。ご希望の映画がありましたら是非ご連絡ください

“手話カフェ”始めました♪



加者がありました。

暑い中、和歌山や、大阪からの参加者もあり、開始時間の1時半を待たずに沢山の人が来てくださり、あっという間に店は満員になり、更にテーブルと椅子を増やしました。それでも外で待ってくださる人も沢山の、途中、入れ替えをしました。この日の反省をもとに受付方法などを工夫し、子ども食堂の第3土曜日を除いて、毎土曜日に開く事に決めました。7月もすでに第1、第2を終えましたが、混乱もなくスムーズに開く事ができ、ホッとしています。みなさまの参加をお待ちしています。



兵庫県旧優生保護法専用相談窓口

FAX:078-362-3913 電話:078-362-3439

保証金の請求手続きを弁護士が無料でサポートする制度もあります併せてご相談ください

優生思想をなくし、補償金の申請について理解を広める活動を引き続き進めていきましょう！



知事が優生保護法被害者と面談、謝罪

6月26日(木)14:45 ～ラッセホール

「子どもを持ちたかったのに手術で持てなくなった、長い間、誰にもそのことを言えなかった、ことを伺い、この優生保護法の政策、兵庫の不幸な子どもの生まれない運動は間違っていたと改めて思っている。・・・」

斎藤知事

被害者一人一人から今までの辛い経験、心の底からの悲しみと怒りの発言があり、そしてその後改めて知事から被害者に向き合い謝罪の言葉があった。最初に淡々と述べられた紋切り型の謝罪の時にはない心の揺れがその時垣間見えた。



次に支援者で共同代表の藤原久美子さんから、「兵庫県は過去に『不幸な子どもの生まれない県民運動』として他府県をリードして不妊手術の件数を増やし、人々の善意の心につけこみ、優生思想を県民の隅々まで根付かせていった。

今度はこの問題の解決のために他府県をリードして取り組んで欲しい」と力強いコメントがあり、最後に津田弁護士からも「県の取り組みを全面的に協力する、だから一緒に頑張りましょう」と、県の本気度を鼓舞するメッセージで締めくくられた。この面談がパフォーマンスで終わることなく優生思想の根絶に向け、行政も頑張ってもらいたい。そして、私たちもともに頑張りたい。